

羽田イノベーションシティを活用した これからの地方創生と大田区のものづくり



大田区
産業経済部長
山田 良 司



大田区の概要



大田区の位置

東京都の東南部に位置しています。
東は東京湾、西・南は多摩川に面し、江東区、品川区、目黒区、世田谷区、神奈川県川崎市とそれぞれ隣接しています。

住民基本台帳人口

(R3.1.1現在)

73万3,672人

(23区：3位)

*東京都『住民基本台帳による東京都の世帯と人口』

総面積

(R3.4.1現在)

61.86 km²

(23区：1位)

*国土地理院『全国都道府県市区町村面積調』

令和3年度予算（歳出）

一般会計	2,937億7,761万円
特別会計	1,432億4,277万円
計	4,370億2,038万円

大田区産業の特徴

製造業：4,229事業所※

(23区：1位)

(※平成28年経済センサス-活動調査)

商店街数：140

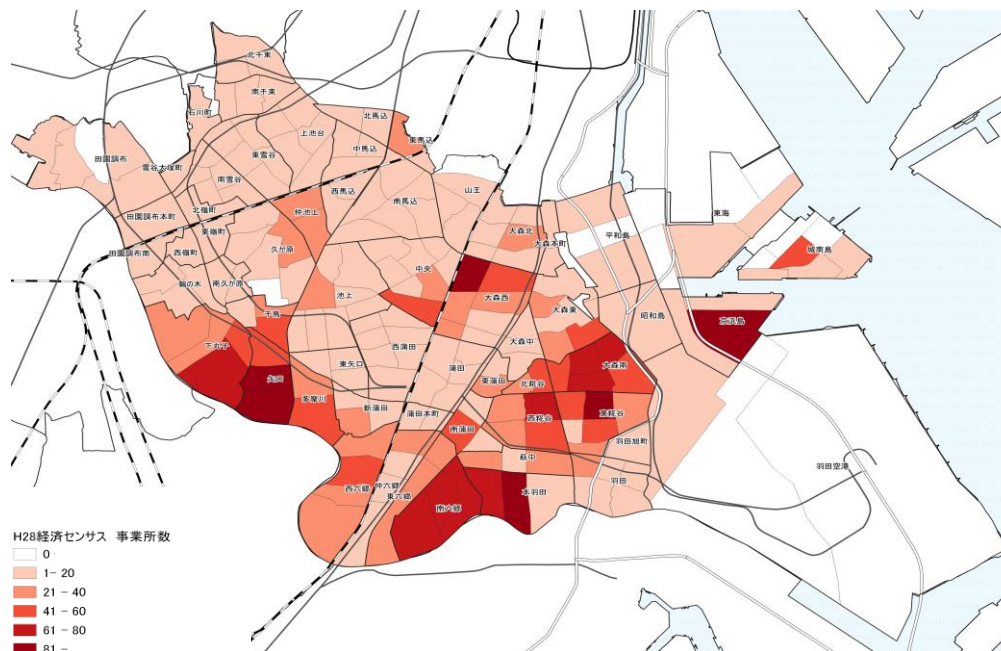
(23区：1位)



大田区の産業

大田区のものづくりの特徴

- ✓ 高度な加工基盤技術を持つ中小製造業が区内に集積。
※下図参照 濃い赤色ほど集積度が高く、ほぼ区内全域に製造業が立地。
- ✓ 産業集積を活かした「仲間まわし」により、短納期・高精度なものづくりを実現。
- ✓ 時代によるリーディング産業が変化しても、その発展を支え続ける力を備える。



令和元年度「大田区ものづくり産業等実態調査調査報告書」



大田区の産業

産業支援施設等の整備

✓ 工場アパート

区内に5か所あり、様々な操業環境を提供。
用途に応じ一時利用から20年まで使用可能。
1ユニット50～300m²と多種。

✓ 南六郷創業支援施設（六郷BASE）

区内開業率の向上・区内産業の発展・創業の
機運醸成を目的とするインキュベーション施設。
令和3年10月に開設予定。

✓ インダストリアルパーク羽田大田区産業施設

入居企業と区内ものづくり企業との連携促進。
面積約1,000m²のユニットを4区画備える。令和2年3月に開設。



インダストリアルパーク羽田
大田区産業施設



南六郷創業支援施設
六郷BASE（コワーキングスペース）



大田区の産業

大田区の商業

- ✓ 多様な地域性が育む、新旧多彩なお店
都内最多の商店街数（140会）



享保元年（1715年）創業
和菓子屋 餅甚（大森東）



日本初のラーメン自販機
令和3年3月～稼働

- ✓ スケールメリットを活かしたエリアプロモーション
沿線車両のラッピング、車内広告ジャック



R2.9/14～11/28

京急線特別ラッピング電車 はねびん号

- ✓ 若手商人ネットワーク事業「次世代リーダー育成塾」

商店街の若手（主に20～40代）の事業を支援。5年間で39会・延110名が参加。

【例】4 商店街合同デリバリー、18 商店街合同のP R動画制作

- ✓ プレミアム付地域商品券

商店会毎に金額等を設定。近隣会共催、非会員店舗の参加も。

【R2】59商店会（38事業）が発行する紙商品券を補助

【R3】紙商品券継続＋デジタル商品券30万部



複数店舗合同のギフトボックス



デジタル商品券
QRコードにスマホをかざし利用



大田区の産業

都内随一の銭湯パラダイス

- ✓ 都内で最多の浴場数 35軒
 - うち黒湯温泉 15軒（令和3年3月末時点）
 - その楽しみ方も様々です！



明神湯（南雪谷）

- ・昔ながらの宮造りの外観、高い天井が特徴
- ・NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」でヒロインが下宿する銭湯の外観として登場



改正湯（西蒲田）

- ・黒湯は25℃以下の温泉で大昔の海水に由来
- ・壁面の水槽（赤い囲み部分）では多くの金魚などが回遊



蒲田福の湯（蒲田）

- ・土日祝限定で、店内のピザ窯で焼き上げる本格的なピザが楽しめる
- ・テイクアウトも可



大田区の産業

羽田イノベーションシティ (HICity)

- ✓ 地域経済の活性化、ものづくり技術の国際競争力強化への貢献や地方創生を実現する「新産業・創造発信拠点」の形成に向け、政策目的実現型の公民連携によるまちづくりを進めています。

整備事業の経緯・スケジュール

羽田空港跡地とは、航空騒音の解消や航空需要への対応に向けた空港の沖合移転に伴って発生した土地です。大田区では、過去の経緯や計画、地域の方々のご意見を踏まえ、羽田空港跡地第1ゾーン(約16.5ヘクタール)のまちづくりを進めています。

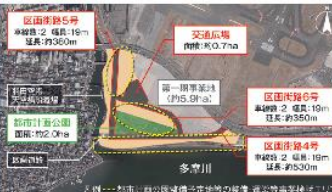
平成22(2010)年	羽田空港跡地まちづくり推進計画 策定
平成27(2015)年	羽田空港跡地第1ゾーン整備方針 策定
平成29(2017)年	第1ゾーンの都市基盤施設工事の着工
平成30(2018)年	第1ゾーン(第一期事業)施設建設工事の着工
令和2(2020)年	第1ゾーン(第一期事業)の事業契約締結 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第一期事業)」まち向き(7/30日予定)
令和4(2022)年	第1ゾーン(第一期事業)全施設開業(予定)

第1ゾーン整備方針(平成27(2015)年7月策定)

- 5つの基本方針
- 1 中小企業と多様な主体との協働により、新産業・新技術を創出する
 - 2 国内外の交流を促し、おもてなしのフロンティアを形成する
 - 3 水辺と緑を活かした「憩い」にぎわい広場を形成する
 - 4 国際性や歴史等を尊重した日本の玄関口にふさわしいエリアを形成する
 - 5 周辺地域(羽田空港や羽田空港跡地第2ゾーン、大田区市街地、京浜東北線等)との機能連携により、相乗効果を生み出す
- 3つのターゲット
- 1 先端産業分野の企業誘致
 - 2 起業・ベンチャーの支援
 - 3 協働プロジェクトの推進
 - 4 文化・アート産業の創出
 - 5 おもてなしエントランスの形成
 - 6 郊外の歴史の伝承
 - 7 多目的広場を活用したいにぎわいの創出
- 7つの重点プロジェクト
- 1 先進産業分野の企業誘致
 - 2 起業・ベンチャーの支援
 - 3 協働プロジェクトの推進
 - 4 文化・アート産業の創出
 - 5 おもてなしエントランスの形成
 - 6 郊外の歴史の伝承
 - 7 多目的広場を活用したいにぎわいの創出
- 世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成

第1ゾーンの都市基盤施設

多様な機能の導入による活力に満ちたまちづくりの実現に向け、交通広場を含む都市計画道路や都市計画公園などの適切な配置と整備が土地区画整理事業により進められています。



都市計画公園整備予定地等の整備・運営等事業
「羽田空港跡地まちづくり推進計画」や「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」を踏まえ、1期(第一期)や2期(第二期)と羽田空港跡地と連続性を持たせた都市計画公園等について、公民連携手法の活用を検討し、多様な人々が楽しめる空間の創出を進めていきます。また、海老取川と多摩川を結ぶ文庫の結露点として、水辺空間との連携を深め、空港跡地の魅力向上につなげていきます。

整備事業のねらい

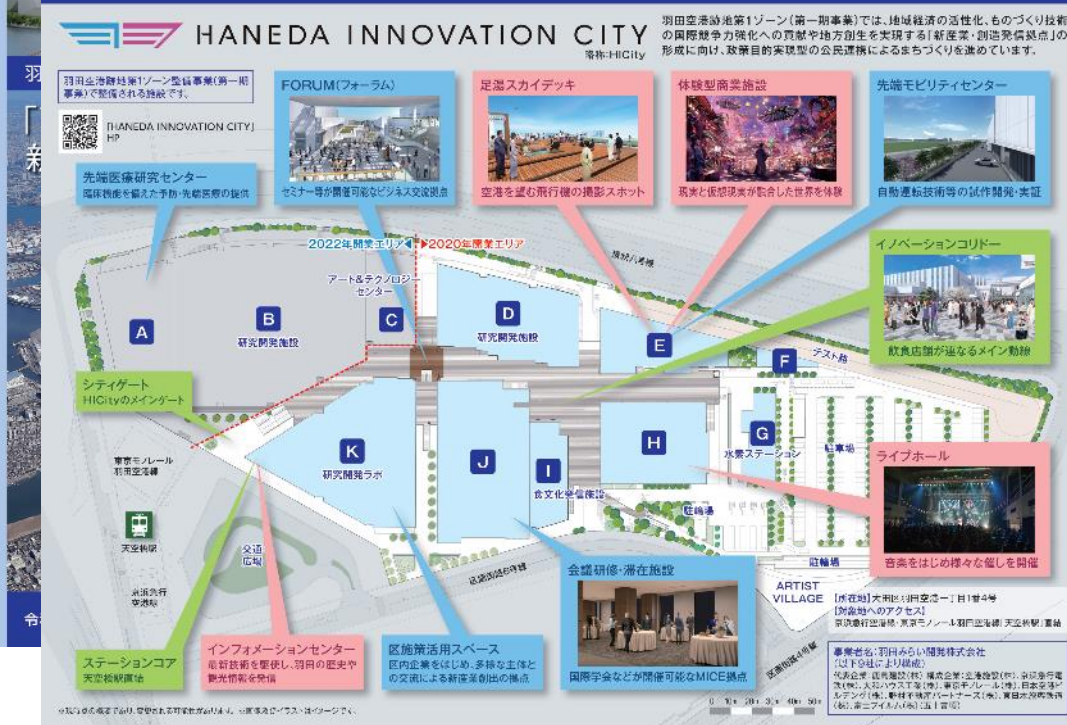
- 当地への集積企業と区内のものづくり企業との研究開発・製品開発による「ものづくり技術の国際競争力の強化」
- 当地の立地特性を活かした日本文化や区の魅力発信による「大田区と羽田空港跡地の魅力増進」
- 水辺と緑に囲まれた都市公園や、緑水空間の整備による「憩い」にぎわいの場の創出
- 上記に加え、当地への来街者が区内を回遊して消費活動を行うことによる「地域経済の活性化」

大田区 新産業創造・発信拠点 振興
お問い合わせ先
空港まちづくり本部 空港まちづくり担当
〒144-8521 東京都大田区東馬場5-13-14 TEL 03-5744-6534 FAX 03-5744-1528
産業経済部 産業交流担当
TEL 03-5744-1941 FAX 03-5744-1528



羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第一期事業)イメージパース

「羽田空港」至近の地から、新しいまちづくりが始まる





HANEDA×PiO (ハネダピオ)

羽田イノベーションシティ内 区施策活用スペース

- ✓ 区内企業をはじめ、国内外大手企業・中堅企業、大学・研究機関、団体、起業家・スタートアップなど、多くの主体や人々が集結する拠点

HANEDA×PiO (ハネダピオ)

= **HANEDA** Platform for **I**nnovation in **O**ta City

交流空間 ゾーン

- ・区内企業との協創を求める法人等の利用
- ・ゲートウェイにふさわしい内容の利用、イベント等

テナント ゾーン

- ・区内企業に新たな取引機会をもたらす企業
- ・海外との取引拡充に注力したい区内企業等

事務・共用 ゾーン

- ・多様な人・組織との交流支援、新たな事業の創出支援、実証実験の支援等の提供



HANEDA × PiO (ハネダピオ)

交流空間ゾーン

- ✓ 創造性を刺激し、可能性を広げる協創空間
様々な分野の叡智を有する企業同士が交流することで新たな価値協創の可能性を広げる約1,000m²の空間



イノベーションの主演の一つ
となるスタートアップの
成長支援を促進

STARTUP

オープン
イノベーション

スタートアップ
支援

ショー
ケース

持続可能な地域社会
づくりに寄与するテーマの
プロジェクトを展開

OPEN INNOVATION



国内外と「OTA」をつなぐ
発信事業などによる
ゲートウェイ機能

GATEWAY



HANEDA × PiO (ハネダピオ)

テナントゾーン

- ✓ 本施設設置の目的及び理念に共感するとともに、
羽田イノベーションシティ全体や地域と協働し、社会課題の解決や
新たなチャレンジに取り組む企業等に入居いただくスペース

- ◆ 全17区画
- ◆ 100㎡、200㎡を基本に複数のサイズを用意
- ◆ 賃料 6,500円/㎡・月
(税抜き、共益費込、礼金なし)
- ◆ 共用ミーティングスペースあり
- ◆ 住居表示は「羽田空港 1 丁目 1 番」



- ✓ 2021年8月17日時点で
7事業者11区画が契約済み

＜入居企業の主な事業内容＞

- ◆ 電気メッキ及び無電解メッキ加工
- ◆ 加熱技術の研究開発
- ◆ 産業機器の開発、販売
- ◆ デジタルコンテンツ設計、製作
- ◆ 半導体、ITデザインサービス
- ◆ 情報処理、コンサルティング



羽田から始まる新しい全国連携モデル

小さな村 g 7 + 1 サミット

✓ これからの自治体間連携は資源を「奪い合う」のではなく「分かち合い」「補い合う」ことが需要。

✓ 自治体間「競争」ではなく、「共創」の時代へ。

✓ 我が国の共通課題に対する解決モデルの一つとして、羽田から新たな自治体連携モデルを発信

コロナに負けるな！
小さな村 g 7 + 1 サミット
@羽田イノベーションシティ

地方創生 + 地域課題 + 教育 + 産業連携 = イノベーション

全国7つの地域で一番小さな7つの村と、首都圏73万人の大田区、8人の首長が羽田イノベーションシティに一同に会し意見交換をします。小さな村と大きな都市が、お互いの暮らしを尊重し、お互いの地域課題を懸念、お互いに足りないものを補いあう。そして、ここから未来の子供たちのため、新産業創造・発信に向けてイノベーションを起こしていく。そのための、小さな一歩、そして大きな一歩。

開催形式
コロナ禍を踏まえリアルとオンラインのハイブリッド開催

オンライン参加は
こちらから

QRコード

開催日時
7月9日 14:00~16:30

スケジュール

13:00	開場
14:00	主催者挨拶：丹波山村長・岡部市長
14:05	主催者挨拶：大田区長・松阪市長
14:10	参加者挨拶：全国町村会事務局長・武蔵野市長
14:15	基調講演：全国町村会事務局長・武蔵野市長 「自治体間連携とこれからの地方創生」
14:35	シンポジウム 「地域間産業連携とイノベーション発信がもたらす、これからの地方創生と地方共創」
15:50	「地方創生と地方共創の重要性」について共同宣言を採択
16:00	関係者による記念撮影など（要望があれば記者会見）
16:30	閉会

主催：山梨県丹波山村、東京都大田区
共催：北海道香取市、福島県桂田町、和歌山県北山村、岡山県瀬戸市、高知県大川村、熊本県五木村
後援：全国町村会、グランド・メロ、ジェイ・エム・エス、日本商船振興会

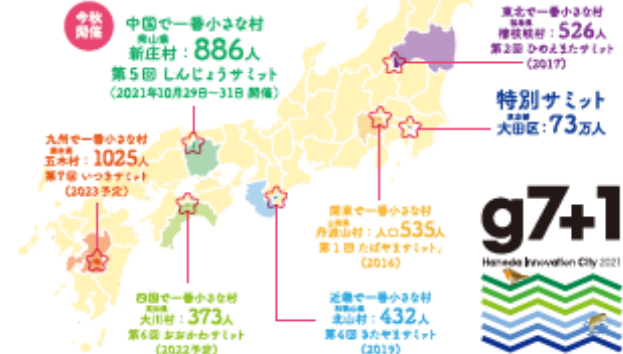


小さな村 g7+1 サミット 東京会場 (2019)

「小さな村 g7 サミット」とは？

「一番小さな村」を逆手に、全国7つの小さな村が連携し情報発信する取り組みです。大文字の「G7」(※1)サミットにも負けない心意気で小文字の「g7」サミットを毎年開催しています。今回は73万人都市・大田区と一緒に「g7+1」サミットを開催します。

※1 G7は、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、日本、カナダの7カ国を指します。



各村人口：2021年4月30日現在

ご清聴ありがとうございました。



大田区の紋章



大田区のシンボルマーク



大田区公式PRキャラクター
「はねびよん」

暮らしてよし、訪れてよし
地域力あふれる 国際都市

大田区